請願第２５号

大阪国際空港の存続協定についての請願

提出年月日　　令和８年（２０２６年）１１月１６日

請　願　者　[redacted]

伊丹空港の特定利用を考える宝塚市民の会

[redacted]

紹 介 議 員　　宝塚市議会議員　大　島　淡紅子

同　　北　野　聡　子

同　　川　口　じゅん

請願の趣旨

７月３１日、「１０市協」（大阪国際空港周辺都市対策協議会）の総会において、森市長は、７月７日の国からの大阪国際空港を特定利用空港候補として検討しているとの説明に対して、（１） 訓練による騒音や安全性の課題、（２） 軍用機の運用により攻撃の対象となる可能性を指摘した上で、（１） 住民への説明の際には防衛省を始めとする国の担当に同席を求める、（２）特定利用空港として利用された場合に起こり得る騒音や安全性への懸念事項に関する客観的なシミュレーションや調査をすることを政府に要望すること、を提案されました。そして「１０市協」として要望することが決まりました。

その後、「１０市協」は政府の関係省庁と新関西国際空港株式会社に対して要望・申し入れ活動を行っています。

しかし、未だに国からは住民への説明もなく、訓練の内容、騒音の程度など明らかにされていません。市民は大阪国際空港が安全に運用されるのか、騒音公害が再び起こるのではないかと不安に思っています。

そこで、以下の項目について請願いたします。

請願の項目

１　市民の安全と平穏な生活環境を守るために、今後も大阪国際空港の存続協定を守ってください。